

平成29年度 事務事業マネジメントシート

| | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------------------|---------------------|------|-------|---|---|---|---|
| 事業名 | 商工業育成・助成事業 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 大 | 小 |
| 政策 | 05 | 5節 | 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興） | 主管課 | 商工振興課 | | | | |
| 施策 | 5-1 | 商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化 | | 主管課長 | 渋谷 俊之 | | | | |

I 事務事業の目的・内容

| | | | | |
|-----------------|--|-------|----|--------------|
| 事業目的 | 対象 | 商工業団体 | 意図 | 商工業の発展に貢献する。 |
| 事業内容 | 市内商工業の振興及び地域経済の活性化のため、商店会に対し街路灯等の電気料金に対し補助金を交付する。また、流山共通ポイントカードへの加入促進を図るため行政ポイントを贈呈する。 | | | |
| 事業開始から現在までの状況変化 | 昭和61年度以来、商業共同施設の経費の一部に対して補助金を交付している。平成20年度からは電気料金の5割に相当する額を助成していたが、原油等価格高騰により3か年に限り全額を交付することとした。平成27年度からは商店街の振興と市民の利便性の向上を図るため電気料金の3分の2、LED化した商店会については全額を補助するものである。また、平成25年度より流山共通ポイントカード事業に対し、加入者の促進を図るため行政ポイントを贈呈している。 | | | |

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

| 指標 | 名称 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | 目標方向 | 算定式（成果指標の場合） |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|--|------|------|-----------------------------------|
| | ① | 街路灯等の電気料金 | 3165 | 2568 | 2604 | 千円 | ↓↓↓ |
| ② | 発行ポイント数 | 3830000 | 1697000 | 1516925 | ポイント | ↑↑↑ | 実績から |
| ③ | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | | |
| 指標で表すことができない定性的な成果 | | | | | | | 目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） |
| 事務事業のコスト | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） | | | |
| 事務事業の総コスト(a=b+c) | 6,491,489 | 5,775,114 | 4,466,150 | 平成29年度は、商店会の負担軽減のため、商店会街路灯のうち防犯灯と道路照明に溶け込むものを市に移管できるよう準備を進めた。平成30年度から街路灯約450基が市に移管される予定であるため、本事業の補助金については大幅に減少される見込みである。 | | | |
| 事業費(b)(円) | 5,663,189 | 5,019,964 | 3,727,830 | ポイントカードの普及拡大については、行政ポイントの贈呈に対する需要が高いことなどから、対象の事業拡大や予算面での見直しを努力している。 | | | |
| うち一般財源 | 5,663,189 | 5,019,964 | 3,727,830 | | | | |
| 職員給与費(c)(円) | 828,300 | 755,150 | 738,320 | | | | |
| 人役・職員(人) | 0.11 | 0.11 | 0.11 | | | | |
| 人役・再任用(人) | | | | | | | |
| 人役・臨職(人) | | | | | | | |
| 人役・嘱託(人) | | | | | | | |
| 初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入） | | | | | | | |
| 想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入） | | | | | | | |

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

| | | | | | | |
|------|----------------------|---------|-------------|-----|---------|-------------|
| 個別評価 | 必要性 | 今後の必要性 | B 必要性は変わらない | 有効性 | 目標達成度 | A 達成できた |
| | | 市関与の必要性 | A 市が担うべき | 効率性 | 対象者の適切性 | A 対象者は適切である |
| | | | | | コストの削減 | A 削減の余地はない |
| 総合評価 | II 継続（事業を現状どおり継続すべき） | | | | | |

(2) 事務事業の業務改善について

| | | | |
|------------------|--|-----------------|--|
| ①今年度(H29)の改善計画 | ・LED化をしていない商店街街路灯について、LED化を促進する。 ・ポイントカードについては、行政ポイントによる支援を行う。 | ③取組の課題 | ・ポイントカードは、加盟店数が少ないため、利用者のポイント活用の利便性が低い。 |
| ②今年度(H29)に実施した取組 | 商店会に対し電気料の助成を実施するとともに、H30度から商店街街路灯の市移管に向けた準備をした。ポイントカードについては、ポイント倍出セールを行いカード利用の促進に努めた。 | ④今後(H30以降)の改善計画 | ・ポイントカードの加盟店増加を支援し、利用者の利便性を高めることで、発行ポイントの拡大に努める。 |